

ストロンガー工法

NETIS HR-140004-A (掲載期間終了)

落石防護

落石予防

崩壊土砂
／土石流

地山補強
／植生

雪崩

工事



特長

ストロンガー工法は、耐力や柵高が不足した既設の落石防護柵を補強する工法です。防護柵の柵高を最大3.5mまで高くするとともに、対応落石エネルギーを最大120kJまで向上させることができます。

① 既設落石防護柵に加工不要で補強が可能

既設落石防護柵に部材を追加で取り付けるだけで、簡単に補強することができます。

② 低コストで施工が可能

既設落石防護柵を再利用することができるため、低コストで施工することが可能です。

③ 環境への負荷を軽減

既設落石防護柵をそのまま利用し、工具による取付け作業のみで施工することができるため、環境負荷を最小限に抑えることができます。

製品の種類

● 補強タイプ 新設タイプ

- ・ 既設H鋼式落石防護柵の「吸収エネルギー向上」
- ・ 新設の「簡易高エネルギー吸収型落石防護柵」



● 部分かさ上げタイプ 部分かさ上げ補強タイプ

- ・ 既設H鋼式落石防護柵の「部分かさ上げ」、「部分かさ上げ補強」



● かさ上げタイプ かさ上げ補強タイプ

- ・ 既設H鋼式落石防護柵の堆積物等による柵高不足対策
- ・ 「かさ上げ」、「かさ上げ補強」(柵高3.5mまで対応可能)

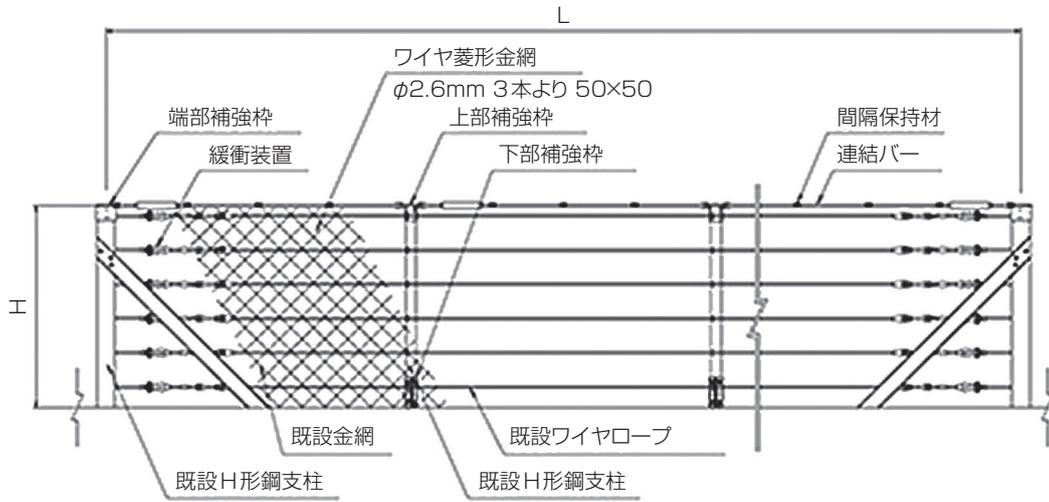


● 積雪対応

- ・ 積雪地の小規模雪崩の対応例



構造



A: 下部接続部材



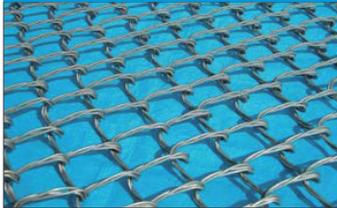
B: 上部接続部材



C: 上部拘束バー



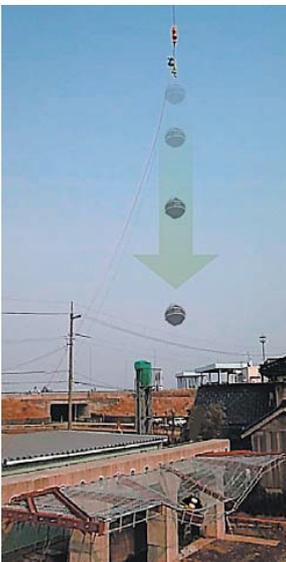
D: 高強度ワイヤ金網



E: 高性能緩衝装置(ワイヤロープに設置)



実物実験



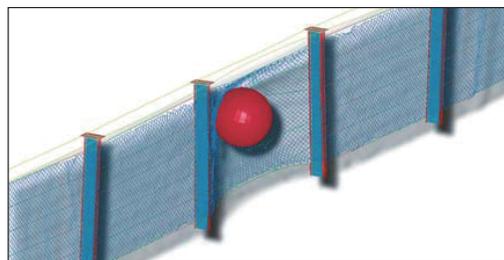
・実物試験(各種18回実施)



・かさ上げ補強の実験



・かさ上げ接続部材



・解析による実験検証

落石防護

落石予防

崩壊土砂
/ 土石流

地山補強
/ 植生

雪崩

工事